

基幹種雄牛として選抜された「^{もとかげとら}元景虎」の特徴

【要約】体型の改良を目的とした気高系種雄牛の造成という方針のもと、「藤景虎」を指定交配牛として造成した「元景虎」は、枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さ、皮下脂肪の厚さ、歩留基準値、腿の肉色、腿の脂肪交雑の質の改良に貢献することが期待される。

畜産研究所 飛騨牛研究部

【連絡先】 0577-68-2226

【背景・ねらい】

岐阜県では、飛騨牛ブランドを支える能力の高い種雄牛群を造成し、最大 12 頭の基幹種雄牛を選抜利用している。これまでに「安福」の優れた遺伝能力を有する後継種雄牛造成に取り組み、「花清光」「孝隆平」「広茂清」などの種雄牛を造成してきた。

平成 30 年度からは、体型に優れた気高系種雄牛の造成に取り組んだ。

「元景虎」の母「もとふくゆり」は、気高系種雄牛「百合茂」を 1 代祖に持ち、産本牛の体型および産子の成績が優れていることから基礎雌牛に選定され、気高系種雄牛「藤景虎」を指定交配して「元景虎」を造成した。

令和 6 年度に飛騨牛改良推進事業専門委員会で基幹種雄牛に選定された「元景虎」について、基幹種雄牛としての利用推進を図るため、産子調査や後代の産肉成績等から特徴を解説する。

【成果の内容・特徴】

- 1 「元景虎」の血統は、父が「藤景虎」、母方祖父が「百合茂」、母方曾祖父が「安福久」である。
- 2 令和元年度に（公社）全国和牛登録協会が定める種雄牛産肉能力検定（直接検定法）で検定した結果、増体量は 1.06kg/日、終了時体高は 128.2cm である。
（同期牛 10 頭（「元景虎」含む）の平均：増体量 1.17kg/日、終了時体高 126.3cm）
- 3 令和 5 年度における「元景虎」の現場後代検定調査牛 19 頭の枝肉成績を表 1 に示した。
全 19 頭の枝肉成績の平均値は、枝肉重量 466.8kg、ロース芯面積 65.3cm²、バラの厚さ 8.9cm、皮下脂肪の厚さ 2.3cm、歩留基準値 75.9%、BMS No. 8.6 であった。
- 4 令和 4 年度において、「元景虎」の産子 27 頭（4～7 ヶ月齢時）の生育状況を調査し、（公社）全国和牛登録協会が定める外貌記載法審査基準に準じた 5 段階で評価した結果、発育、中軀幅、体の伸び、資質に優れていた（図 1）。
- 5 産肉能力の推定育種価については、枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さ、皮下脂肪の厚さ、歩留基準値、腿の肉色^{※1}、腿の脂肪交雑^{※2}に優れている（図 2）。

※ 1 （公社）日本食肉格付協会の牛脂肪交雑基準に基づき、12 段階で半膜様筋断面を流通関係者が評価した評価値

※ 2 （公社）日本食肉格付協会の牛肉色基準に基づき、7 段階で半膜様筋断面を流通関係者が評価した評価値

【成果の活用・留意点】

- 1 発育、中軀幅、体の伸び、資質の改良が期待できる。
- 2 枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さ、皮下脂肪の厚さ、歩留基準値、腿の肉色、腿の脂肪交雑の改良が期待できる。
- 3 「白清 8 5 の 3」及び「花清国」の血液割合が低いことから、「白清 8 5 の 3」、「花清国」及びその後継牛を父に持つ繁殖雌牛に交配可能である。

【具体的データ】

表1 「元景虎」の現場後代検定調査牛19頭の産肉成績

No.	性別	母牛			産肉成績								
		一代祖	二代祖	三代祖	出荷月齢	枝肉格付	枝肉重量	ロース芯面積	ばら厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS	BCS
1	去勢	美国桜	忠富士	安平	27.7	A5	515.2	90.0	10.3	1.8	79.9	12	3
2	去勢	花清光	白清85の3	羅威傳王	28.4	A5	373.3	54.0	7.7	1.7	75.3	8	4
3	去勢	花清光	清峰大地	飛驒白清	27.5	A4	443.2	50.0	8.9	1.0	75.4	6	4
4	去勢	藤景虎	福之國	平茂勝	28.4	A4	432.7	60.0	8.2	2.0	75.4	7	4
5	去勢	白清85の3	平茂勝	飛驒白清	26.6	A5	601.3	62.0	9.1	2.9	73.4	8	3
6	去勢	福増	百合茂	福之國	28.1	A5	524.3	71.0	8.6	2.4	75.7	10	3
7	去勢	花清國	平春王	羅威傳王	28.1	A4	437.1	60.0	7.7	1.3	75.7	7	4
8	去勢	花清國	第1花園	平茂勝	28.0	A2	472.7	52.0	8.7	2.8	73.5	4	5
9	去勢	忠富士	第1花園	安平	28.0	A4	484.4	53.0	9.0	2.2	74.2	7	4
10	去勢	白清85の3	福之國	福桜(宮崎)	27.8	A4	496.7	72.0	9.1	2.7	76.2	7	4
11	去勢	永光清	利優福	白清85の3	27.7	A4	460.1	50.0	8.3	2.2	73.7	6	4
12	去勢	光平照	平茂勝	安福栄	27.2	A5	509.9	74.0	9.3	2.5	76.6	11	4
13	去勢	花清光	菊福秀	安福久	29.0	A5	560.7	100.0	11.9	1.3	82.2	12	3
14	雌	花清國	安福	隆桜	28.8	A5	451.7	87.0	9.6	3.3	78.6	11	4
15	雌	花清國	茂重安福	平茂勝	28.7	A5	468.4	67.0	9.0	2.7	75.9	11	4
16	雌	宗光清	景幸福	白清85の3	27.5	A5	348.7	50.0	8.7	2.4	75.2	9	3
17	雌	白清85の3	平茂勝	安平	27.0	A5	511.3	68.0	9.8	3.6	75.1	9	4
18	雌	耕富士	秀菊安	勝平性	28.1	A5	403.2	68.0	8.8	3.6	75.8	11	4
19	雌	花清勝	勝忠平	飛驒白清	26.4	A4	375.1	53.0	8.3	2.2	75.1	7	4
				平均值	27.8	-	466.8	65.3	9.0	2.3	75.9	8.6	3.8
				去勢平均	27.9	-	485.5	65.2	9.0	2.1	75.9	8.1	3.8
				めす平均	27.7	-	426.4	65.5	9.0	3.0	76.0	9.7	3.8

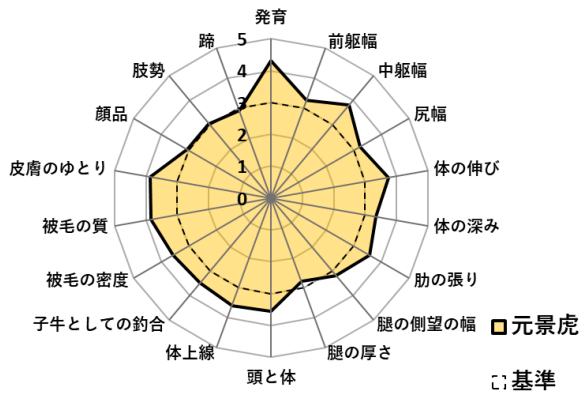


図1 「元景虎」の産子27頭の調査結果 (数値: 評価値) ※「3」を標準とし、数値が高いほど良い

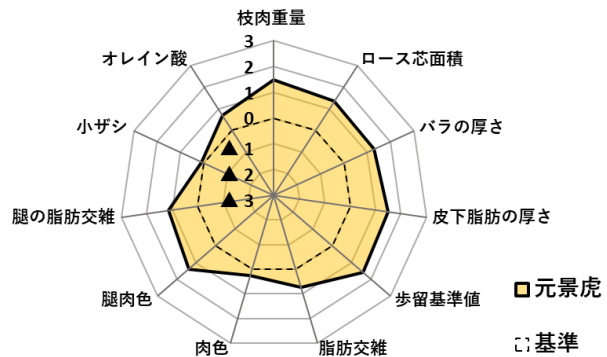


図2 「元景虎」の産肉能力の推定育種価 (数値: σ 値) ※図は外に向くほど良い

研究課題名: 令和6年度飛驒牛産肉能力検定事業
 担当者: 小澤昌起